

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-137	16-074	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
題名 (原題/訳)		
Alcohol consumption as a risk factor for sarcopenia - a meta-analysis. メタアナリシスによるサルコペニアと飲酒量との関連		
執筆者		
Steffl M, Bohannon RW, Petr M, Kohlikova E, Holmerova I.		
掲載誌		
BMC Geriatr. 2016 May 11;16:99. doi: 10.1186/s12877-016-0270-x		
キーワード		PMID
サルコペニア、飲酒、メタアナリシス、高齢者		27170042
要 旨		
<p>目的： サルコペニアは筋力と筋肉量の低下することであり、高齢者に関連する深刻な症状といえる。サルコペニアの危険因子は確立されているものもあるが、飲酒量のような危険因子との関連は確かではない。この研究では 65 歳以上の人でサルコペニアとアルコール飲酒量が関連するかどうかを調べた。</p> <p>方法： 4 つのデータベースから関連する論文を同定した。サルコペニアと飲酒量の統計と情報は関連論文から抽出した。サルコペニアと飲酒量の関係は Cochran-Mantel-Haenszel 検定と DerSimonian-Laird 法でランダム効果モデルを用いてオッズ比を計算した。</p> <p>結果： 関連がある論文として見つけた 214 報のなかで、13 報をメタアナリシスに含めた。論文から 13,155 参加者のデータを得た。飲酒者の中でサルコペニアに対するオッズ比 (95%信頼区間) は、それぞれ、男性で、0.67(0.54-0.83)、女性で、0.89 (0.73-1.08)、男女合わせて、0.77 (0.67-0.88)だった。</p> <p>結論： 今回のメタアナリシスの結果からは、サルコペニアに対する危険因子として飲酒量は認められなかった。オッズ比の結果からは、サルコペニアに対して予防的な結果に見えるが、この結果が直接予防を意味しているわけではなく、著者らは、病気の予防のために飲酒をすることを推奨するわけでない。</p>		